

教育目標 豊かな知性を育て きびしく自己をきたえ 高め合う生徒

学校課題

- 1 確かな学力の育成
- 2 人間関係力や社会性の育成
- 3 生き方を問い続ける資質能力の育成
- 4 体力向上と眠育、食育等の生活習慣の形成

学校経営方針

- 1 授業の充実（道徳を含む）
 - 2 家庭学習の習慣化
 - 3 生徒会活動の充実
- 「受信・思考・発信の聴き合い学び合う授業」を教師と生徒で創り上げることにより、学力と人間関係力を総合した人間力を高める。
- 生活設計力と時間管理能力を高める「三点固定」運動を中核として「家庭学習の習慣化」を図る。
- 生徒会活動等で「3つの喜び」を体感させ、自信のつく事実を積み上げることによって、次へのエネルギーと生き抜く力を高める。
- 道徳教育とキャリア教育を充実し、社会的・職業的自立力の基盤を育てる。
- ★「3つの喜び」
- ①自分の持ち味を生かし、人の役に立つ喜び
 - ②自分たちで考え、決め成功させる喜び
 - ③仲間と協力しやり遂げる喜び

目指す生徒像：しばたかじかわの生徒

- し 思考し学び合う生徒
 ば 場と時を大切に生徒
 た 大夢を抱く生徒
 か かけがえのない関係をつくる生徒
 じ 自信の付く事実を積み上げる生徒
 か かけがえのない自分どう生きるかを問い続ける生徒
 わ 分かるまで考え追究する生徒

当校教育の数値目標

知

「全校体制で取り組む学力向上」

- ① 授業が「分かる、できる」といえる生徒の割合を90%以上にする。
- ② すべての学年で、3教科のWeb活用テストを目標点以上にする。
- ③ 「意欲的に授業に取り組んだ」といえる生徒の割合を90%以上にする。
- ④ 「家庭学習に毎日、1年生70分、2年生80分、3年生90分以上取り組んでいる」生徒の割合を80%以上に

徳

「豊かな心の育成」

- ①「学校生活が楽しい」と感じる生徒の割合を90%以上にする。
- ②「いじめや差別を許さない」といえる生徒を100%にする。
- ③「自分が役に立っていることを実感し、前向きに活動できた」といえる生徒の割合を80%以上にする。

体

「体力づくりの実践と生活習慣の改善」

- ①1学期体力テストの結果、県平均以上になる項目を60%以上にする。
- ②2学期の体力テスト結果が1学期以上になる項目を60%以上にする。（1,2年生）
- ③「21時以降に双方向通信をしない」生徒の割合を80%以上にする。
- ④「三点固定を意識して生活している」生徒の割合を80%以上にする。

PTA 共通課題「家庭学習の習慣化」

- 1 70分（1年）、80分（2年）、90分（3年）
- 2 三点固定（起床、家庭学習開始、就寝の時間）
- 3 メディア接触60分以内
- 4 21時以降双方向通信をしない
- 5 親子コミュニケーション
- 6 家庭学習プランニングタイム
- 7 生活ノート・自学ノート

保護者・地域との連携

- 「中学校は、PTA 共通課題『家庭学習の習慣化』や眠育に保護者と一緒に取り組んでいる」とする保護者の割合を80%以上にする。

学び合い5か条

- 1 人の話を聴き合う
- 2 他者の意見や考えに敬意を払う
- 3 自分の考えに根拠や理由をもつ
- 4 自分の言葉で表現し伝える
- 5 他の意見に反応する

課題解決に向けた努力事項

確かな学力

＜教科・家庭学習＞

- 「受信・思考・発信」をキーワードに個・ペア・グループ・全体など多様な学習形態や課題により、聴き合いや学び合いのよさを実感できるようにする
- 「分かる・できる」授業、「問いをもつ」授業、「夢中と没頭」のある授業
- 「学習3原則」の徹底で自立した学習態度を育てる
- 自学ノートの活用や各教科からの宿題と合わせ、PTA 共通課題「家庭学習の習慣化」に取り組む

特別支援教育

- 生活単元やソーシャルスキル・トレーニングを推進する
- 交流学习を通して協調性、集団生活への参加能力を高める

豊かな心

＜道徳・生徒指導・特活＞

- 年間35時間の道徳授業を充実し道徳性を高めるとともに「励ます評価」を行う。
- 生徒会を中心とした自治活動を推進し、よりよい学校づくりに取り組む
- 体育祭や合唱コンクール等の行事を通して「3つの喜び」である「自己発揮と貢献」「自主と成功」「協力と達成」の喜びを体感することによって自信を育む

人権教育、同和教育

- 豊かな関わりを体験し、差別や偏見のない人間関係を育成する
- 同和教育の視点に立った授業を実践する

健康体力・生活習慣

＜体力・健康教育＞

- 部活単位での基礎トレーニングの継続により、体力の向上に努める
- 「三点固定」運動を推進する中で眠育を充実し、60分以上のメディア接触と21時以降の双方向通信をしないよう支援する。
- ※「三点固定」は起床・家庭学習開始・就寝時間の固定

中1ギャップ解消

- QU を主軸に構成的グループエンカウンター等を取り入れるなど、人間関係づくりの能力を育成する
- 複数の目によるきめ細かな対応を強化する
- 小中学校間の緊密な連携体制を構築する

しばたの心継承

プロジェクト

＜キャリア教育・総合＞

- 社会的・職業的自立力を育成する中で、地域の人的・物的資源を活用し「しばたの心継承プロジェクト」を推進する
- 生き方モデルに触れ、かけがえのない自分どう生きるかを問い考える「生き方授業」を実施する

食とみどりの

新発田っ子プラン

＜食育・総合＞

- 豊かな情操を培う体験活動を継続する
- 地域の食文化、産業、自然や文化を教材とした「食育」を実践する
- 機会あるたびに「自分で作る弁当」を推奨する